

# 算数科学習指導案

音更町立音更小学校 6年3組 児童28名  
指導者 斉藤 雅彦

## 1 単元(題材)名

今までの算数のふり返り 「割合をふり返ろう」

### 【単元について】

新学習指導要領の実施にあたり、算数科改訂の基本方針で発達や学年の段階に応じた反復(スパイラル)の重要性が示されている。また、学習し身につけたものを日常生活や他教科等の学習、より進んだ算数・数学の学習へ活用していくことの重要性も示されている。

さらに本学級の児童の実態として、昨年算数で学習した際に割合の理解で苦労した児童が多かった。またCRTの学力テストの結果を見ても、割合や百分率について復習を要する児童が多く見られた。

以上の点を考慮し、6年生1学期末において、関連する単元の「比と比の値」を学習した後に復習として本単元を設定することとした。

## 2 単元の目標

- ・関心・意欲・態度 今までの算数の学習をふり返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得しようとしたり、身近な場面で生かそうとしたりできる。
- ・技能 数量の関係から割合や百分率、基準量、比較量を求めることができる。

## 3 指導計画

時数	目標	主な学習内容	評価規準
1	・新聞から百分率が使われている場面を見つけることができる。	・新聞から百分率の使われている場面を見つける。	・新聞の中から百分率が使われている場面を探そうとしている。(関・意・態)
2 本時	・新聞の勝敗表から勝率をもとめることができる。	・新聞から野球の勝率を求めることができる。	・野球の勝敗という場面に合わせて数量の大きさの関係を割合でとらえ、勝率を求めることができる。(技)

## 4 新聞活用のねらい

本学級の児童の実態として、学んだことを生活の中で生かす能力やその姿勢について課題があり、新聞を活用することにより解決したいと考えた。

本校はNIEの実践指定校になっており、5年に渡り新聞の購読を続けている。そのため、教室前に新聞コーナーを設置していて、休み時間に自由に読むなど新聞は児童にとって身近なものとなっている。学習面でも、社会科で歴史新聞を作ったり、家庭学習で毎週新聞の切り抜きを行いスクラップブックの作成をしたりする等、新聞を使った学習も経験してきている。それらの経験を生かした教科の学習を行えないか模索してきた。

児童にとって身近な存在になっている新聞の記事を生かして算数を学習することで、学習したことが日項目にする新聞の中でたくさん使われている事実気づかせたいと考えた。また、その使われ方を考えることにより、算数の問題や知識をより身近なものと感じさせたい。特に新聞記事の中でも「よく読む児童」が38%と関心の高いスポーツ欄の記事を題材とすることで、より積極的な学習活動を目指したい。

## 5 本時の学習について

### (1) 本時の目標

- ・新聞の勝敗表から勝率をもとめることができる

### (2) 本時の評価規準

- ・野球の勝敗という場面に合わせて数量の大きさの関係を割合でとらえ、勝率の求めることができる。(技)

### (3) 本時の展開

	学習活動	教師の支援と評価 (◎)
課題把握	1 前時のふり返り ・新聞の中でたくさんの百分率が使われていたことをふり返る	・身近な場面で百分率が使われている場面をふり返させる
	2 問題を把握する 日本ハムファイターズは本当に2位でしょうか？	
課題把握	3 新聞の勝敗表を確認する ・ロッテが1位、日ハムが2位になっている ・勝利数は日ハムが多い ・勝敗表には「率」というのが書いている	・単純に勝ち数だけでは比べられないことに気づかせる ・勝敗表の「率」の存在に気づかせる
	4 課題を把握する 新聞の勝敗表から「率」を求めよう	
課題追求	5 割合の求め方を確認する ・率と言えば百分率 ・百分率は割合の考え方だった ・割合＝比べられる量÷もとにする量 6 「率」を求め、グループで交流する ・勝利数÷試合数 ・新聞の率と違う ・新聞が間違っている？ ・引き分けってどうするのか？	・百分率の求め方を確認する  ◎割合を求めることができているか(技)→ノート ※電卓の使用可 ・割合の求め方確認する ・もとにする量、比べられる量を確認する ・グループ交流の中で、教え合う
まとめ	7 「勝率」の求め方を学習する ・引き分けは試合数に含まない 勝っている割合のことを「勝率」という プロ野球の勝敗表では勝率を求める際に、引き分けは試合数に含まない 勝率＝勝ち数÷(試合数－引き分け数)	
	8 勝率を求める 9 勝率を発表する 10 発展問題に取り組む ・別日の勝敗表から勝率を求める(自力解決) 11 発展問題の答え合わせをする 12 身近な新聞の中にも算数で学習したことがたくさん使われていることを確認する	◎割合を求めることができているか(技)→ノート ※電卓の使用可

